

## →表面から

・【意見・要望】 部活動の縮小方針を受け、社会体育の受け皿の周知や指導者の紹介等、子どもたちの運動の場の確保を保障するための手立てや支援をよろしくお願いします。

・【質問】 学校と家庭とが連携することで、健やかな体づくりの効果が増すと思います。家庭で取り組める具体例等があれば教えてください。

### (回答) 健康教育課

子どもがスポーツに接する機会は様々ですが、学校部活動だけでなくや親子での外遊び、ゴムとび、キャッチボール等も良いと思います。また、入浴後のストレッチ等も、疲労の回復や柔軟性の向上に効果的です。

・【質問】 安全に配慮してと思いますが、近年は運動会での組体操・騎馬戦等の競技が避けられます。しかしこれらには精神面その他での効果も期待されます。ご見解をお聞かせください。

### (回答) 健康教育課

組体操等を行う場合は、安全性を重視して、種目や競技をしっかりと検討するよう、学校を指導しています。具体的には、十分な準備と技の選択等について、子どもの実態にあったものになるよう指導計画を立て、教職員の共通理解のうえ、児童生徒の安全を第一に取り組むようにしています。

・【意見・要望】 学力・体力・心が一人一人異なった子どもたちです。大変お忙しい学校・先生方ではありますが、今後とも個々の子どもたちに沿った指導をしていただければと思います。

## 4 教育環境の整備に関して (施設・設備、安全・事故防止など)

・【質問】 震災で遅れたエアコン設置工事ですが、今後の予定はいかがでしょうか。

### (回答) 施設課

普通教室のエアコン設置について、中学校については、平成 29 年 5 月に設置工事が完了しました。また、小学校については、順次、工事発注を行っており、平成 29 年度末の完了を目指し、取り組んでいるところです。

・【提案】 小規模校のためか、図書館の本購入予算が回ってこないような気がします。古い図鑑や歴史の本を読んでいるような有様です。新刊書が買えるような予算立てをお願いします。

### (回答) 学務課

学校図書館の蔵書整備にあたっては、各学校に対し、一律の学校割のほか、蔵書率の達成状況(文部科学省基準)に応

じた図書購入予算の配当を行っています。

また、使用に耐えない古い図書については、子どもたちの読書活動を推進し、蔵書の質的向上を図る観点から、蔵書率が 100%を下回らない範囲において廃棄を行い、計画的に買い換えることができるよう配慮しています。

・【質問】 児童育成クラブが満杯の状態です。定員や広さを決める基準といったものがあるのでしょうか。また、各校の現状はいかがでしょうか。

### (回答) 青少年教育課

熊本市の児童育成クラブでは、定員を設けず、条例で定める面積要件の範囲内で、児童を受け入れています(国基準 1.65㎡/人、市基準 1.125㎡/人)。

現在、市基準を満たさないクラブが 8 クラブあるため、優先的に整備を検討しています。整備にあたっては、学校施設の利活用を第一に取り組んでいるところですが、困難な場合についてはプレハブの設置も検討していきます。

・【質問】 登下校や部活動での移動時には自転車でのヘルメット着用が義務付けられていますが、それ以外は任意であり、着用は家庭と本人の意思に委ねられているのが現状です。松山市等、他所では着用率が高いところもあるようですが、本市での現状と着用に向けての今後の取り組みをお尋ねします。

### (回答) 健康教育課

道路交通法の改正で、児童のヘルメット着用は義務となっており、各学校では、自転車教室や交通安全指導で着用を呼びかけています。しかし、罰則規定がないこともあり、着用が徹底されていない状況もあることから、ヘルメット着用が万一の事故の際に自分の命を守ることを、あらためて周知してまいります。

## 5 学校・家庭・地域社会の連携の推進に関して (情報共有・協力・連携など)

・【質問】 子どもの成長を支えるために、三者の連携はとても大切だと思います。良い事例等あれば教えてください。

### (回答) 教育政策課

文部科学省では、地域の方々による学校支援活動のうち、特にその活動内容などが優れていると認められる活動について、活動の一層の推進のために文部科学大臣表彰が行われており、表彰事例は次のサイトにおいて公表されておりますので、ご覧ください。

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/exam/commendation.html>

→次号に続く

